**ハンドマイク街頭演説原稿例　学問の自由の侵害は許さない**

二〇二〇年十月三日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日は、この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、しんぶん赤旗が先日スクープした、菅政権による日本学術会議への人事介入問題が、マスコミでも大きく取り上げられ、国政の大問題となっています。

そもそも、日本学術会議は、戦前、科学者らが国策として侵略戦争に協力させられた痛苦の経験から、高度な独立性をもって、日本の科学者を代表する組織として発足した機関です。首相直轄の機関ですが、政府に対して科学者の立場から政策提言もおこないます。ですから、学術会議設置の根拠となる法律でも、会員について「推薦に基づき首相が任命する」とし、憲法６条の天皇の首相任命権と同様に政府の裁量の余地を認めていません。これまで、政府自身の答弁でも、首相が推薦者の任命を拒否することを否定してきました。しかし、今回、菅首相は推薦された１０５人の会員候補うち、６人の任命を理由も示さず拒否しました。かつてない異常な事態です。日本学術会議の存在意義を否定する重大な政治介入であるとともに、憲法２３条で保障された「学問の自由」を踏みにじるものです。

日本共産党は、この違憲・違法の任命拒否に断固抗議し、撤回させるために野党と力合わせ追及していきます。何よりもまず、菅首相が国民に任命拒否の理由を説明するよう強く求めていきます。日本共産党への大きなご支援をよろしくお願いします。

みなさん、９月のシルバーウイークを境にして、東京都をはじめコロナ感染の新たな拡大が危惧されています。長引くコロナ危機で暮らしも経済も深刻な打撃をこうむっています。このままでは、インフルエンザの流行期と重なり、医療崩壊の危機とともに、倒産・失業の悪循環に陥る恐れがあります。

このようななか、日本共産党は２日、新型コロナからいのちと暮らしを守り、経済を立て直す対策を政府へ緊急に申し入れました。まず、コロナ感染拡大防止の最重要課題として検査・医療体制を抜本的に拡充すること、とりわけ感染が急増する地域などでの網羅的なＰＣＲ検査や社会的検査の早急な実施を求めます。さらに、中小企業や個人事業主を支援する「持続化給付金」の継続的な給付や消費税５％への緊急引き下げを行い、倒産・廃業の危機から救うことをつよく要望しました。

　みなさん、菅政権が発足しましたが、このままでは安倍政権と同じく国民のいのちや暮らしを軽視する強権政治が続いていくのではないでしょうか。総選挙にむけ、野党が政権構想と共通の政権公約に合意し、何としても政権交代を実現していく決意を示すべきです。そのために、日本共産党も全力でがんばります。来るべき総選挙での野党共闘の勝利と日本共産党躍進で政権交代へ、みなさまの大きなご支援を重ねてお願いいたします。

　最後に、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」の購読をお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）